

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300158
法 人 名	社会福祉法人 希望会
事 業 所 名	グループホーム やすらぎの里
所 在 地	鹿児島県姶良市下名2992番地 (電 話) 0995-65-1641
自己評価作成日	平成29年10月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達のホームでは「ご自宅での生活の延長」を念頭に置き、出来る範囲内で、調理・掃除等の家事や菜園の手入れ等をして頂くなど、ご本人の得意なこと、できることを活かし引き出す支援をしております。当ホームは自然に囲まれ、中でも自慢は豊富な天然温泉が出る事で、入居者より好評を得ています。特に足湯はボランティアや地域の方々もご利用され、「気持ち良かった」と大変喜ばれています。

行事関係では、月初めのボランティアさんによる絵手紙教室や誕生会、地域の景色や季節の移り変わりを楽しんで頂ける様毎月ドライブを実施しております。毎日の日課としては、リハビリを兼ねて、「ラジオ体操・サザエさん体操・ソーラン節等」で体を動かし心身共に機能低下しないように日頃から心がけています。

自施設だけでの生活にならぬよう、併設施設の行事等にも参加し、季節に応じて初詣、花見、ソーメン流し、地域のかかし祭り、小中学校との文化祭等々、地域に出かけ、地域の方々との触れ合いや交流を大切にしています。鹿児島のおはら祭りにも参加し、賑やかで楽しい雰囲気を感じていただきました。今後も、屋外活動を通じ喜びや感動を味わって頂き、入居者お一人お一人に楽しく張りのある日々を送って頂ける支援をして行きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は隣接して小規模多機能ホーム、ショートステイ、特別養護老人ホーム等、同法人の7つの介護サービス施設があり、用途に応じて連携がとり易く、利用者や家族の安心に繋がっている。併設施設の行事の参加や災害対策の協力関係が構築されている。協力医療機関による24時間医療連携体制が確立している。

- 自治会に加入して、地域コミュニティ協議会や地域の行事、かかし祭りや、小・中学校の文化祭に参加している。ホームの行事には民生委員や地域の方も招待して交流している。ドライブ、そうめん流し、忘年会等には地域から見守りボランティアの協力がある。併設施設の行事、夏祭り、敬老会、秋祭り等、地域とのふれ合いがある。

- 入浴は豊富な天然温泉であり菖蒲湯や柚子湯で季節を楽しんでいる。足浴は地域の方も利用されおり好評である。

- 利用者の力量を活かし、一人ひとりのペースを大切にして、ラジオ体操、絵手紙教室、家事活動等、個別に楽しみを把握して対応している。昔の歌や遊びを教えてもらったり、暮らしを共にする関係ができている。

- 管理者は職員とコミュニケーションを図り、職員の資質向上に協力的で学ぶ環境を整えている。職員は自己研鑽に励み、自己評価しながら温かいサービスを提供している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を「あなたの大切な人生を地域の中であなたらしく暮せる様にあなたの傍で支え続けます」と掲げ、日々のケアを行っている。職員会議の中で法人の理念や基本方針と一緒に唱和し理念を共有して実践につなげている。	法人の理念と地域密着型サービスの意義を踏まえたグループホームの理念がある。玄関・事務室に掲示し、パンフレットに掲載している。職員会議で唱和し、日々のケアを振り返り確認している。理念学習会を実施し職員は理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小中学校の文化祭、かかし祭り等地域の行事に入居者様を連れて参加したり、特養やデイサービスの行事へも参加し地域の方との交流を図っている。	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を得たり、地域行事のかかし祭りや小中学校の運動会・文化祭等に参加している。ボランティアによる絵手紙や読み聞かせ等があり、保育園児とのふれ合いもある。同法人の施設の行事やホームの行事に地域住民の参加を呼びかけて、地域との交流を図っている。見守りボランティアもあり、学生の実習受け入れもしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の抱えている悩みや相談等が気軽に話せる場として、いつでも訪問できるように入口をオープンしている。また、グループホームの入居者との触れ合いの中で、入居者の不安やプライバシーに十分配慮しながら認知症の方を理解して頂くという機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月の2ヶ月毎に地域の代表者様、民生委員の方々、地域包括の方へ呼びかけ運営推進会議を開催し、事業所の取り組み、自己評価の説明、外部評価の結果説明を行いその課題について皆様から様々な意見を頂きより一層の「質の高いサービス」へ繋がるよう心掛けている。	2ヶ月毎に定期的に開催している。利用者や事業所の状況や取り組み・ヒヤリハット・外部評価の報告等を行い、意見交換をしている。自治会で抱えている問題や地区の認知症の方の独居状況等を話し合い、サービス向上に活かしている	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃より市町村担当者とは連携を取っており運営上の疑問・問題点などが発生した場合は速やかに連絡し、運営推進会議等で地域包括の職員に相談・指導を受けるようにしている。	市担当者とは、相談や報告等を行い、積極的に情報の交換をしてアドバイスを得ている。運営会議にも参加してもらい、市の研修会等にも出席し協力関係ができる。おむつ券やシルバーカーの補助金等、対応してもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で身体拘束廃止委員会を設置している。毎月定期的に会議を開催し、身体拘束をしないという事を全職員周知徹底している。事業所でも勉強会を行い身体拘束禁止の理由、身体拘束の例外等を理解し身体拘束をしないケアを実施している。	法人全体で身体拘束廃止委員会を設置し、事業所でも、マニュアルに沿って毎月事例や課題を掲げて勉強会を実施。外部研修にも参加して職員の共通認識を高め、言葉の拘束も含めて拘束ゼロに取り組んでいる。昼間は玄関の施錠はせず、職員間の連携で、安全な暮らしを支援し、外に出たい利用者には職員が寄り添って、落ち着くまで対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	法人全体で人権擁護委員会を設置し毎月会議が開催されている。虐待防止について各種研修に参加し研修報告などで全体勉強会を開催している。様々な心身への虐待についての知識や予防について全職員に周知徹底し虐待のないよりよいケアの実践に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度をご利用されているご利用者はいらっしゃいませんが、職員研修や福祉関係の資格取得等で十分勉強し理解できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約の際は十分に説明を行い重要事項説明書・利用契約についてご本人・ご家族様が十分に納得、理解された上で同意を頂き契約を取り交わしている。重度化や看取り及び医療連携体制等についても同様に十分な説明を行い納得理解され同意を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃より入居者やご家族と積極的にコミュニケーションを図り、意見を出しやすい雰囲気作りに努めている。また、ご意見箱の設置やアンケートの実施などで、利用者やご家族の意見を吸い上げ、職員会議で取り上げるなどし運営に反映させている。	利用者からは、日頃からコミュニケーションを図り、何でも話しやすい環境を心がけている。家族からは、面会時や電話やアンケートの実施で、意見や要望を把握している。遠方の家族には、電話や便りで意見を捉えている。家族へのお便りに絵手紙を添えたり、利用者には自己決定しやすい言葉がけに配慮している。意見は職員会議で話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は日頃から個別面談等、職員と話し合う機会を設けコミュニケーションを図っている。そこで提案された意見を聞き必要に応じてミーティング・勉強会・職員会議を開催し、そこで話し合われた内容を職員一人一人が理解し、日々の職務に役立てている。	管理者はミーティングや職員会議で職員からの意見や要望を聞く機会を持ち、運営に反映している。管理者や職員間の連携は強く、毎日の申し送りノートも活用して業務の改善が行われている。個別の相談にも応じている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得や自己研鑽の為の各種研修への参加、仕事への意欲や取り組み等を見極め評価し、又職員自身の自己評価申告を実施し、十分な話し合いを行った上で、働きやすい環境・労働意欲や向上心を持てる労働条件の整備を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は事業所内外の研修への参加を積極的に勧めている。職場全体の研修には外部講師を招いて事業所のスタッフも参加している。各個人へ資格取得の為の勉強会等も職場全体で取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や地区のグループホーム協議会の主催する事業所同士の研修に参加し、意見交換を通してお互いの事業所の情報交換を行いサービスの向上に努めている。また法人内の研修に参加し交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時は時前面談を行い本人の困っていること、不安、要望等、些細な事柄についても傾聴し、ご本人の生活状況を把握する事でよりよい信頼関係作りに取り組んでいる。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めての相談時、家族との面談を行いご家族の困っている事や不安・要望等をお聞きし家族状況を把握する事によってよりよい信頼関係を築くよう努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご本人やご家族の思い、生活状況等を確認し必要に応じた支援を見極め、事業所でのサービスの内容を共有し、早急な対応が必要な時相談者には可能な限り柔軟な対応をし当ホームに空きがない場合は他の事業所のサービスを紹介する等の対応・対策を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に家事を行うようにしている。掃除・料理・買い物・洗濯物たたみ等残存機能を生かしつつ本人の得意なことを生かせる場面作りを日常的にしている。昔の歌や遊び方等も教えて頂いたりしながら楽しくかつ、けがなく他利用者とのコミュニケーションを図っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	グループホーム便りや面会時等、ホームでの様子をお知らせ、日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、日頃から家族とのコミュニケーションを図っている。又誕生会・花見・運営推進会議等各行事への参加や協力を呼び掛けご家族の思い、意向を聞く場を設けるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域やいきつけの美容室を利用したり他の事業所の友人・知人を訪ねたり来てもらったりしている。又、ドライブ等で馴染みのスーパー等に行ったりし他者とのコミュニケーションを図っている。	入居時に、馴染みの人や場との関係を把握している。友人や知人が訪ねて来た時は、お茶を出してゆっくりしてもらっている。地区の敬老会にも参加している。馴染みの店での買い物や墓参りは家族が対応して、友人や知人との関係が途切れないよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや家事活動洗濯たたみ等を通じて利用者同士の交友関係がスムーズにいくよに支援している。利用者同士のトラブルや心身の状態、気分感情にも注意を払い見守っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>併設の施設へ移られた利用者の所にも入居者と一緒に遊びに行ったり、事業所にも遊びに来てもらう等継続的な付き合いができる様心がけている。又入院されているご家族にも電話をし、様子を聞く等して状態把握を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の関わりの中で本人あるいは、利用者間との話を聞きご本人の思いや意向の把握に努めている。意思疎通の困難な方には言葉や表情から真意を押し図つたりご家族と相談し一緒に検討している。</p>	<p>家族の意向を参考に、日頃から利用者の表情や話から、思いや意向の把握に努めている。困難な場合には、利用者が自己決定できるような言葉かけを工夫して対応している。家族と連携を取りながら、利用者本位の支援に結びつくように努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用時にご本人やご家族より聞き取りを十分行い本人自身の話や家族、知人等の来訪時にもプライバシーに配慮しながら個別の支援に努めている。又これまでの主治医を利用している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者1人1人の生活のリズムや心身状態を記録し本人の全体像の把握に努めている。できることに着目し家事や趣味活動（絵描き・塗り絵・カラオケ・ゲーム・料理）等個別に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時や担当者会議などで必ずご本人やご家族の思いや意見を聞くようにし、職員会議やカンファレンスで気づき、問題点などについて話し合い介護計画に活かしている。介護計画の見直しは個々の状態変化に応じ本人ご家族の意見や要望を基に主治医や職員と話し合いを行っている。御家族が参加できない時は電話で意向を伺うようにしている。	本人や家族の意見を把握して、担当者会議などで話し合い、本人の思いや意向を反映させ、主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施、見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時は、その都度見直して、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や介護日誌は個別に食事・排泄・体温・血圧（朝・夕測定）・健康状態・日々の生活の様子を記録し情報の共有に繋げている。介護日誌は日中（黒）夜間（赤）と区別して見やすく工夫している。ケアプラン実施表を作り確認のチェックを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族の希望や状況により病院受診など必要な支援には柔軟に対応している。健康管理や状態変化に対しても協力医療機関による24時間医療連携体制を取り医療ニーズの対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の地域住民と連携を取りつつ、民生委員・ボランティア・地域の小・中学校の文化祭・お祭りなどに参加する等、交流の機会を設け、入居者の方々に安心した楽しい時間を持って頂けるよう支援している。ポイントボランティアの活用で入居者に寄り添ったケアを目指している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からかかりつけ医や本人・ご家族の希望する医療機関で定期的な往診を受けている。受診や通院は、家族同伴や希望により職員が付き添いを行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医を受診している。定期的な往診があり、受診は職員が同行したり、家族の協力を得ながら対応している。結果はその都度家族に報告している。歯科は訪問診療であり、日頃から口腔ケアに力を入れている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携看護師に入居者各人の症状経過等を報告している。状態悪化時は相談し適切な判断を仰いでいる。各主治医や、協力病院による24時間連絡体制が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入居者が入院された際ご家族とも連絡を取りながら症状の把握を行い主治医にも経過報告し三者の連携を図り、少しでも早く退院できるよう努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化や終末期の在り方についてはアンケート、看取り介護並びに終末期医療に関する同意書を作成している。本人・ご家族・主治医を交えて説明、話し合いにて入居者全員の合意を得ており話し合いによって本人にとって一番良い支援方法を選択できる様主治医に相談しつつ取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に『重度化対応に係る医療連携体制指針』を説明して同意書をもらっている。状況の変化に伴って主治医を中心に関係者を交えて、本人・家族の意向を把握し、早い段階から話し合い、方向性を共有して対応している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	各入居者の急変や事故発生を想定した連絡体制のマニュアルを作成している。消防署の協力で事業所全体で心肺蘇生術の研修や併設の看護師によるたんの吸引などの勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと、地域住民の参加型総合避難訓練、夜間想定消火避難訓練、消防用設備等の総合点検の実施。地域住民自主防災組織作り・話し合いや支援体制の取り組みに努めている。（非常食の備蓄あり）	法人全体の避難訓練を消防署立ち合いのもと、年2回、昼想定で1回、夜間1回、実施している。地域住民の参加もあり、消火訓練・避難経路・地域連絡網確認・消防設備の点検等を実施している。ヘルメットも常備している。地域住民自主防災組織があり協力体制を築いている。非常食用に水・米・パン・カップラーメン・ミネラルウォータ等、用意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>勉強会やミーティング等で職員の意識向上を図り、入居者のプライドやプライバシーを損なわない対応の徹底を図っている。記録等個人情報に関しては、保管場所を設け十分注意を払っている。</p>	<p>マニュアルを基に勉強会を月1回開催、法人の外部講師を招いた研修会にも参加し、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。トイレ誘導・戸の開閉・入浴支援等、配慮している。一人ひとりを把握し対応に心がけている。言葉かけや難聴の利用者にも工夫して支援している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者の希望や好みを把握し一人一人に合わせた声掛けで職員側の押し付けにならぬよう複数の選択肢を提案し自己決定できるようにしている。意思表示の困難な方は表情や態度を読み取り表現しやすいように対応している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の体調に配慮しながら入居者のペースに沿って柔軟に対応し個別性のある支援を行っている。一人一人のやりたいことを把握し見守ってあげるようにしている。（絵描き・塗り絵・ドライブ・起床や入浴の時間）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床後の洗面と同時に鏡を見ながら髪の手入れや入浴後の洋服選びなど、利用者の好みを聞いて一緒に行っている。馴染の美容院を利用し希望のカットにしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や新鮮な物を取り入れ調理の中で味付けや盛り付けなどを職員と利用者の個々の力を活かしながら一緒に考え工夫して作っている。食事の準備、後片付けができる方に手伝って頂き食器洗いやお膳拭きなど一緒にしている。	利用者の好みに合わせて、旬の食材を使って献立を作成している。食事の準備や盆拭き・皿洗いを職員と一緒にして利用者の個々の力を活かしている。行事食は花見弁当・おせち料理・外食等、バーベキューや夕涼みをしながらの食事会で、食事を楽しむ支援をしている。アレルギー反応にも注意して調理している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に応じた食事量・水分量・残食量を把握して不足しない様にし、栄養バランスや見た目を大事にして楽しみを持てる食事作りを心掛けている。併設施設の管理栄養士による年1回の献立のチェックや栄養についての勉強会等を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に義歯の洗浄や、歯磨きの声掛けや誘導を行い、利用者全員の口腔ケアに努めている。自力で出来ない方には、見守りや援助により行っている。就寝前にはポリデント消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人のサインを見逃さないように様子観察しながら、さりげなく声掛け誘導を行っている。夜間転倒の心配がある方、排泄の失敗を気にされる方には、ポータブルトイレを使用している。排泄チェック表を用いて個々の排泄パターン（間隔、量、排便のスケール、尿の状態）を把握している。また、見守りの中で出来る事を促している。下着にリハパン、尿取りパットを使用している人もいる。	排泄チェック表を用いて、パターンを把握し、さりげなく声かけ誘導している。自分でトイレに行けることもあり、見守り支援をしている。自立に向けて、日中はトイレでの使用を支援している。サインを見逃さないように様子観察しながらさりげなく誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、牛乳を飲用し食事外にも水分補給に気を付け、纖維質の多い食品を献立やおやつに取り入れている。朝の体操、踊り、風船バレーや本人の楽しみ等で体を動かす機会を設け、便秘の予防に努めている。（便チェック）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	お一人お一人の体調の変化などを確認しながら入浴を行っている。本人の希望や好みや羞恥心、恐怖心に配慮し時間帯、順番は相談して決めている。又、本人が気乗りしない時は無理に勧めず時間を置いて声をかけるなどしている。行事浴も実施（ゆず湯・菖蒲湯）。	入浴は天然温泉で、週に3回を基本にしているが、希望があれば毎日でも入浴できる。足湯もあり喜ばれている。菖蒲湯や柚子湯にして、楽しんでいる。入浴を拒む利用者には、無理強いしないで、タイミングをみて声をかけたり、職員を変たりして、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	掃除や食事作り、レクレーション、散歩、外出等日中の活動を通して生活のリズムを作り安眠に繋げ個別に休憩を取り入れている。寝付けない人には、お茶を飲みながら本人の訴えに傾聴し安心して休んで頂くよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々の薬の目的を周知し正しく服薬できるように一人一人の薬剤情報提供用紙をファイル、整理している。状況の変化をチェック、その記録などを医師に報告し追加薬や随時薬を処方された場合は、全職員が把握できるように申し送りノートに記入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴や趣味等を把握して、本人が好きな事、できる事を支援し感謝の言葉を伝えるようしている。楽しみながら自分らしく生活していただけるようにしている。本人の得意とする家事援助やレク活動（絵描き、食事作り、カラオケ、買い物、塗り絵）等で力を発揮されている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホームにこもりがちにならないように、気分転換やストレスの発散・五感の刺激を兼ねて散歩に出かけたり、スタッフ同行で、ドライブ、買い物支援を行っている。散歩困難になっている方は、車椅子等を利用して戸外へ。（本人に合わせた移動の配慮をしている）又、季節に応じた行事計画（花見・外食・ソーメン流し、初詣）で戸外に出かける際は、家族やボランティアの方に協力を得ている。	日頃は散歩に出かけたり、外気浴して気分転換している。外出支援の年間計画があり、外出して季節を満喫している。初詣・菜の花ロード・桜や紫陽花の花見・そうめん流し等、歩行困難な利用者は、車椅子対応で戸外に出かけて楽しんでいる。戸外の外出時は家族の協力やボランティアの協力を得ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの入居者はご家族が金銭管理をしている。馴染の美容室の支払いや買い物時には、本人が自分で支払って頂けるようなサポートをしている。お小遣いが必要な時には、ご家族に相談し一緒に買い物に行くなどして理解を得てもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族が遠方の方は、ホーム便りや月1回の絵手紙、本人が書かれた手紙などを郵送している。絵手紙を年賀状、暑中見舞いとして出したりと家族との交流を図っている。電話が来たりかけたりする時は、子機を使用し気兼ねなく居室でお話しして頂くようプライバシーに配慮している。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、心地よい音楽、ゆず湯や菖蒲湯など五感を刺激し季節感を取り入れる工夫をし居心地の良い支援をしている。（ホームの近くでとれた竹の子や菜園の野菜等を使い季節感を取り入れる工夫をしている。）	玄関やホールは広く、共用空間は採光が柔らかく、温度・湿度管理が整っている。台所は対面式で調理の風景や匂いを身近に感じられる。ソファーは離れた所にもあり、歩行の時の配慮があり、畳のコーナーでゆっくりできるようになっている。フロアには季節を感じる飾りつけや季節の花が活けられ、作品の展示等があり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。		
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、ホールにソファを置き、気の合う利用者同士が話されたりくつろいでおられる。廊下にも椅子を置き自由に会話ができるよう工夫している。又、入居者同士の関係性などに配慮した居場所作りをしている。（好きな人と一緒のテーブル配置等で工夫）			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が自宅で使用していた馴染みの布団、時計、ラジオ、写真、人形、絵画等使い慣れた日用品を、ご家族に持ち込んでもらいその人らしく過ごしていただいている。又、ご主人の遺影などを箪笥の上に飾り、職員も飾る花と一緒に取りに行く等して居心地の良さに配慮している。	タンス・エアコン・ベッド・クローゼット・洗面台が設置された広い居室である。家から持ち込まれた寝具・衣装ケース・時計・机・ラジオ・人形・家族写真等が飾ってあり、その人らしく設営がしてあり、我が家のように居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室など混乱しやすい場所には、入居者の目線に合わせ、名前、本人が描いた絵等を表示している。ホール、トイレ、浴室、廊下等ほとんどの場所に手すりを設置し安全と自立への配慮をしている。入居者の身体機能に合わせて移動バーや滑り止めマットを使用し工夫している。本人の活動性を維持する為に車椅子等、個人の状態に合わせて取り入れている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	<p>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)</p>	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)</p>	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
62	<p>利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)</p>	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)</p>	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない